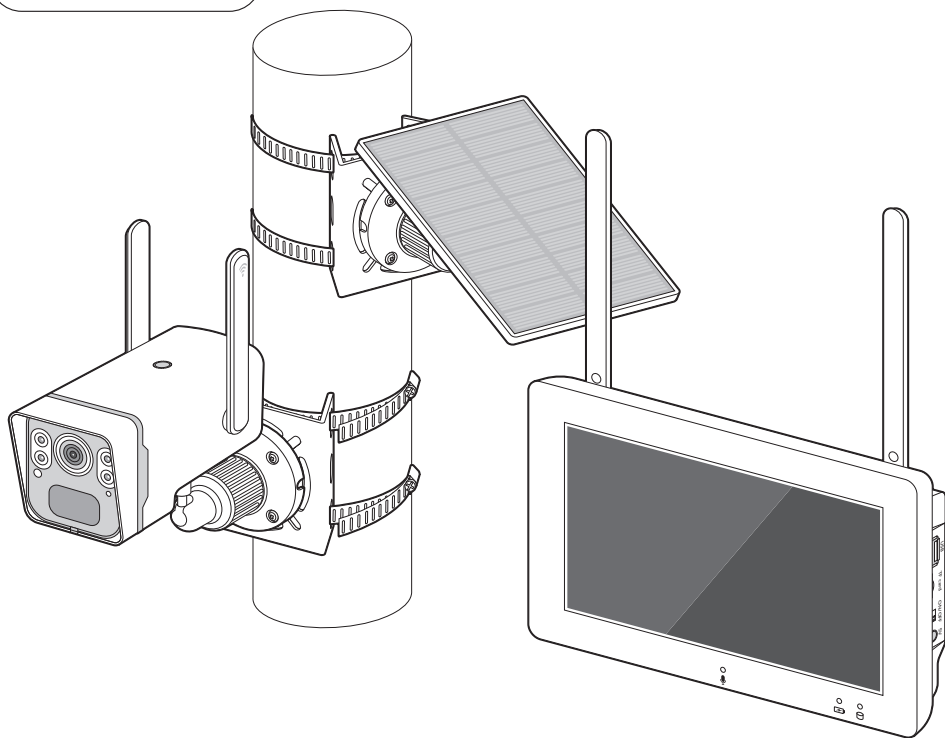


モニター付き400万画素 ワイヤレス防犯カメラ

DX-SC400

取扱説明書



このたびは、モニター付き400万画素ワイヤレス防犯カメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。事前にこの取扱説明書をよくお読みになり、使用方法、設置方法をご理解いただいた上でご使用いただきますよう、お願い申し上げます。また、「安全上の注意」の内容を必ずお守りください。

本取扱説明書の巻末に製品保証書が添付されていますので、必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。また、ボタンの位置等をわかりやすくするため、配色を変更しています。

※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

目 次

1. 安全上のご注意	3
2. 同梱品の確認	6
3. 各部名称	7
4. 設置する前に	9
■カメラを充電する	9
■モニターのmicroSDカードを交換する場合	9
■カメラとモニターの初期設定	10
※カメラ設置の参考図	13
5. カメラとソーラーパネルの設置	14
■木製の壁、石膏ボードに取り付ける場合	14
■コンクリートの壁に取り付ける場合	14
■ポールに取り付ける場合	14
■カメラ／ソーラーパネルのマウンタへの取り付け	16
■ソーラーパネルとカメラの電源コードの接続	17
■モニターの設置	17
6. カメラの画像を見る／録画を見る	18
■カメラ画面の操作	18
■カメラと通話する	19
■音量を操作する	19
■表示を拡大／回転する	19
■メインメニュー画面を表示する	19
■録画ファイルを見る	20
■録画方法を設定する	21
■録画ファイルをバックアップする	23
■録画ファイルを削除する	23
■microSDカードをフォーマットする	23
7. その他の使い方	24
■アラームの設定	24
■カメラを追加する(マッチコード)	25
■システム設定について	26
■システム管理について	27
8. 故障かな?と思ったら	28
9. 製品仕様	30
10. アフターサービス	31
製品保証書	巻末

1. 安全上のご注意

この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

■絵表示と絵表示の意味



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

電源に関するご注意



●カメラ・モニターは規定の電源で使用する。

感電・故障の原因となります。付属のソーラーパネル・ACアダプタ、または規定内の電源で请使用してください。

●雷鳴が聞こえるなど、落雷の可能性がある時はカメラやソーラーパネルから離れる。

感電の原因となります。



●カメラのコネクタ部を濡らさない。

カメラ・ソーラーパネルは防水仕様ですが、コネクタ部から水が入ると故障や感電の原因となります。設置工事は雨天を避けて行ってください。

●モニターを濡らさない。水場や水場の近くで使用しない。濡れた手で触れない。

感電の原因となります。

●本製品や各コードを分解・改造しない。本製品内に異物を入れない。

防水性能が損なわれ、火災・感電・故障の原因になります。故障の際はご自分で修理なせず、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。

設置場所に関するご注意

	● 取付面の強度を確認し、素材にあったビス・プラグなどを使用して適切に取り付ける。 カメラの落下により、周囲の人が重傷を負う危険があります。また、取付面の破損・劣化の原因となります。 ● 自宅や私有地、専有部以外へ設置する場合には事前に必要な許可を得る。 マンション共用部などへ設置する場合は、事前に必要な許可を得てください。（マンションのポーチや廊下は共用部にあたります）
	● カメラを他者の住居など、プライバシーを侵害する可能性のある場所へ向けて設置しない。 本製品は自宅や私有地、専有部などの防犯目的に設置するものです。他者の権利を侵害する用途での使用はしないでください。 ● 極端に高温になる場所／低温になる場所で使用しない。 故障の原因となります。また、設置器具などの変形で、カメラが落下する危険があります。 ● 引火性のあるものの近くで使用しない。 火災の原因となります。

使用に関するご注意

	● モニターは傾きのない、安定した場所へ設置する。 不安定な台の上などで使用すると落下によりケガや故障の原因となります。また壁掛けで使用する場合、強度のある壁面に適切に取り付けてください。 ● カメラやモニター、各コードに異常が見つかった場合は使用を中止する。 感電や爆発・火災等の原因となります。カメラやモニターが変形していたり、コードの被膜に破損がある場合、また、異常な発熱や発煙などがある場合にはただちに使用を中止してください。
	● 日本国内でのみ使用する。 本製品は日本国内用に設計されています。外国で使用した場合、法律・条例に違反する可能性があります。また、日本国外で使用した場合、保証の対象外となります。 ● 本製品や付属品を小さな子どもに触れさせない。 小さな部品や鋭利な部分のある部品があり、思わぬケガや事故の原因となります。 ● カメラやモニターを火中に投げ入れない。 火災・感電・故障・爆発の原因になります。

⚠ 注意



●カメラを直射日光や強い光源に向けない

カメラの故障の原因となります。日中の日差しの動きなどを考慮し、カメラを設置してください。

●カメラのレンズやセンサー部に手で触れない。

故障の原因となります。カメラの汚れは柔らかい布でやさしく拭きとってください。

●撮影された画像を不用意に第三者に公開しない。

プライバシー侵害の恐れがあります。本製品は防犯目的のみに使用し、他の用途で使わないでください。

●強い電磁波や磁力の発生している場所に設置しない。

故障の原因となります。

●microSDカードについてのご注意

※microSDカードは消耗品です。定期的に新しい物と交換してください(使用期限は各メーカーの保証書換回数によります)。保証書換回数を超えたカードを使用すると、正常にファイルが記録されない場合があります。

※本機で使用するmicroSDカードをPC以外の他の機器(スマートフォン、タブレット等)で使わないでください。他の機器のデータが入っているカードを使用すると、本機が誤動作を起こすことがあります。

※ご使用のmicroSDカードは定期的にフォーマットを行ってください。1カ月に1度を目安にフォーマットしてください。

※すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。動作しない場合、他のカードをご使用ください。

【免責事項】

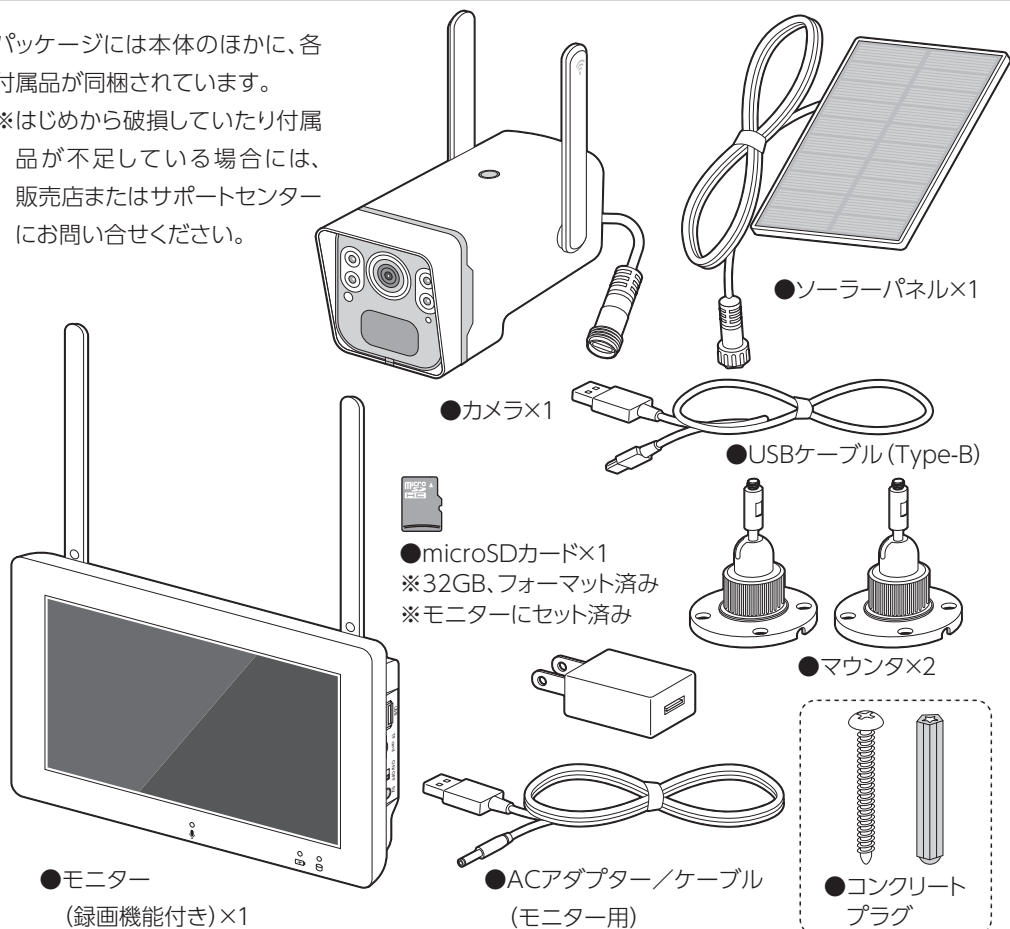
以下のような場合、弊社では一切の責任を負うことができません。ご了承ください。

- 本製品や記録媒体等の故障により、動画が記録できなかった場合や記録が消失してしまった場合
- 本製品で記録された映像に関するトラブル(被撮影者の肖像権、著作権、プライバシー権についてのトラブルを含みます)
- 本製品のカメラ等を設置したことによる、建造物の外壁等の損傷

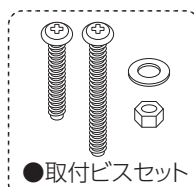
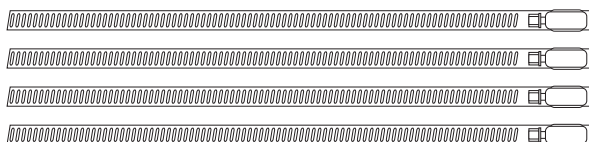
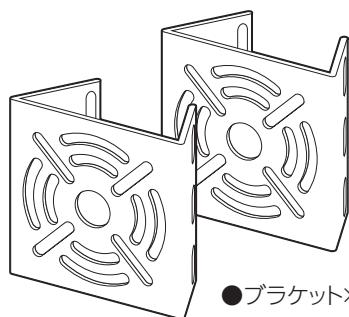
2. 同梱品の確認

パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。

※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。

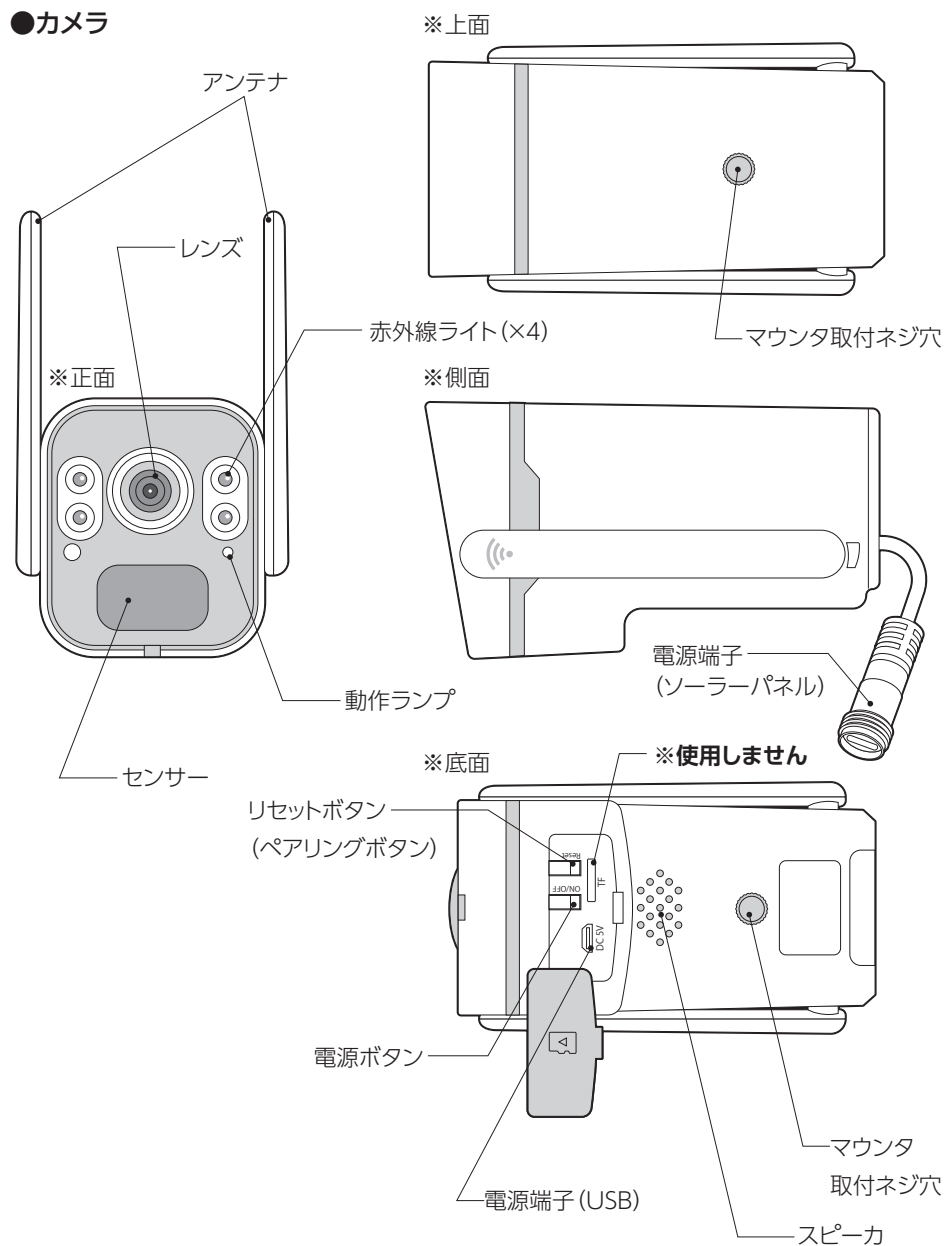


ポール取付用部品



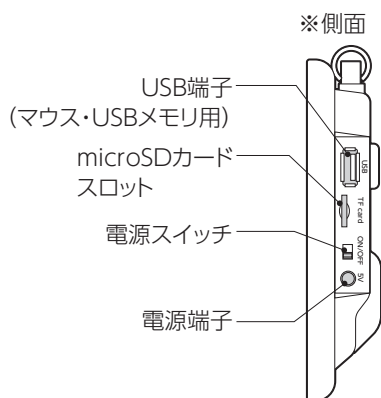
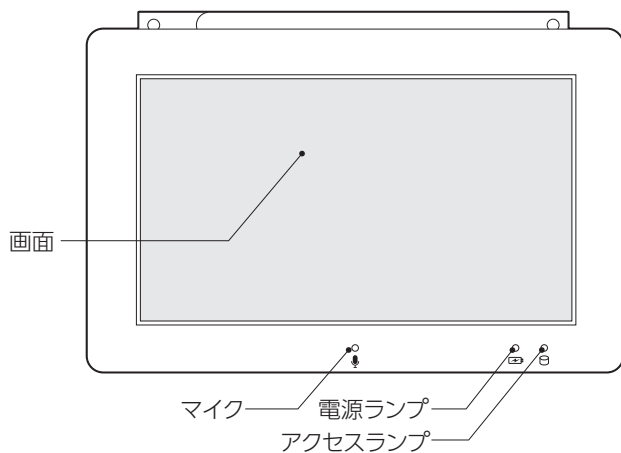
3. 各部名称

●カメラ

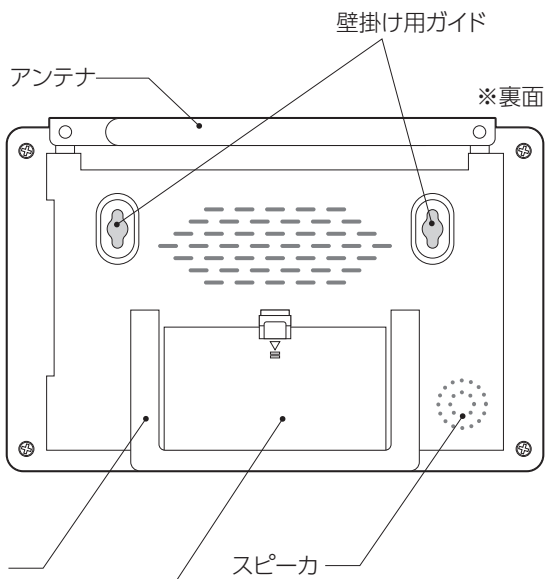


●モニター

※正面



※側面



※裏面

※使用しません

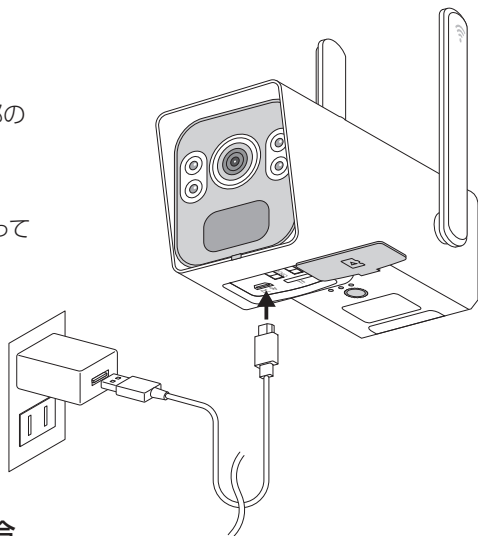
4. 設置する前に

■カメラを充電する

設置する前に、カメラを充電します。

付属のUSBケーブル(Type-B)を使用し、本体下部の電源端子(USB)から充電を行ってください。

※5V/2Aの充電アダプタで4時間ほど充電を行ってください。



■モニターのmicroSDカードを交換する場合

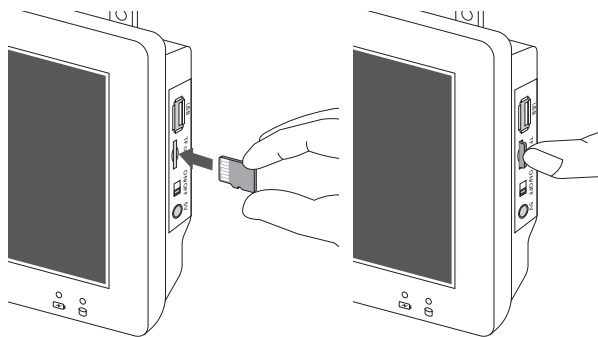
モニターにはフォーマット済みのmicroSDカードがセットされています。

microSDカードを交換する場合、下記手順で行ってください。

※カメラにもmicroSDカードスロットがありますが、こちらは使用しません。カメラにmicroSDカードをセットすると、正常に動作しなくなる可能性がありますので、セットしないでください。

※microSDカードをセットしないと録画は行えませんが、カメラからの画像の視聴、アラーム機能などは使用することができます。

※microSDカードの抜き差しはモニターの電源をOFFにして行ってください。



- ①古いカードを取り出します。ツメでカードを押し込み、指を放すとカードが少し出てきますので、まっすぐ引き抜きます。
- ②新しいカードの裏面を画面側に向け、スロットに対してまっすぐ挿入します。
- ③カチッという音がするまでツメで押し込んでください。押し込んだ後、指を離してもカードが出てこないことを確認してください。

※スロットのバネでカードが飛び出てしまうことがあります。カードの抜き差し時は紛失にご注意ください。

カードの向きに注意

microSDカードには表裏があります。逆向きにセットすると、故障します。



端子部には触れないでください。

※イラストは各端子・スイッチが見やすいよう、実際よりデフォルメしています。

■カメラとモニターの初期設定

初期設定・動作確認を行い、カメラの設置位置を決めます。

次の手順で行います。

①モニターの電源をON

②カメラの電源をON

③モニターで初期設定を行う

④インターネット接続設定(スキップ可)

⑤時間設定

⑥パスワード設定

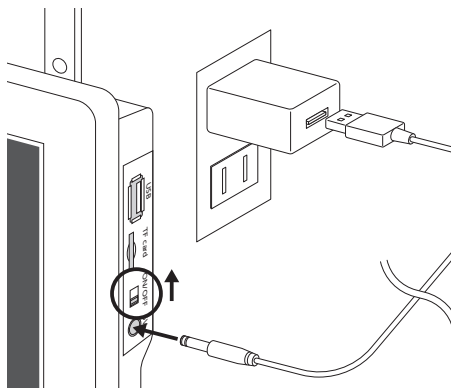
⑦アプリ設定(スキップ推奨)

⑧画面の確認

⑨カメラ設置位置の確認

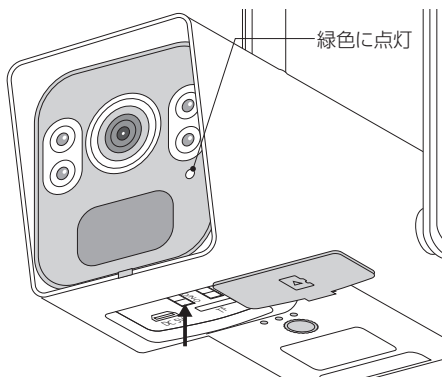
①モニターに電源を接続し、電源スイッチをONにします。

※上部のアンテナを立ててください。



②カメラの電源ボタンを長押しし、電源をONにします。

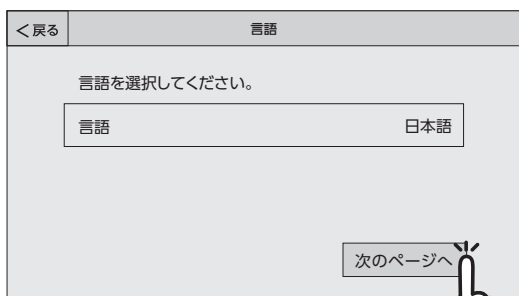
電源がONになると、起動音が鳴り、カメラ正面に緑のランプが点灯します。



③モニターが起動すると初期設定画面が表示されます。

最初にシステムの表示言語を設定します。日本語のままが良い場合は「次のページへ」をタップします。

それ以外の言語を選択したい場合は「言語」をタップし、選択してください。



④ご家庭でご使用のWi-Fiと、モニターを接続します。この設定は行わなくても本製品は使用可能です。

接続する場合は、一覧からご家庭で使用しているWi-Fiルーター名を選択し、パスワードを入力してください。

前の画面に戻るには左上の「戻る」をタップします。次のページへ移動するには「次のページへ」をタップします。

< 戻る

利用可能なネットワーク

Buffalo-G-0000

aterm-0000-000

TP-Links-0000

abcdefg0000

< 1 / 2 >

次のページへ

⑤インターネットに接続している場合、「同期時間」をONにし、タイムゾーンが「+9:00 東京、ソウル」になっていることを確認し、「次のページへ」をタップします。

インターネットに接続しなかった場合は、「同期時間」をOFFにし、「時間設定」をタップ、現在の日時を設定してください。設定後、「次のページへ」をタップします。

< 戻る

時間設定

同期時間 OFF

サーバ time.windows.com

タイムゾーン +09:00 東京、ソウル

時間設定 >

2023/10/01 12:00:56

次のページへ

※インターネットのタイムサーバと同期しない場合
(手動で設定する場合)の操作

⑥システムのパスワードを設定したい場合はここで設定します。初期値では「パスワードなし」になっています。

パスワードを設定した場合は、絶対に忘れないようご注意ください。製品が使用できなくなります。

初期値のまま使用する場合は「OK」をタップしてください。

< 戻る

パスワードを変更する

新しいパスワード

パスワードを認証する

自動ログイン

すべてクリア

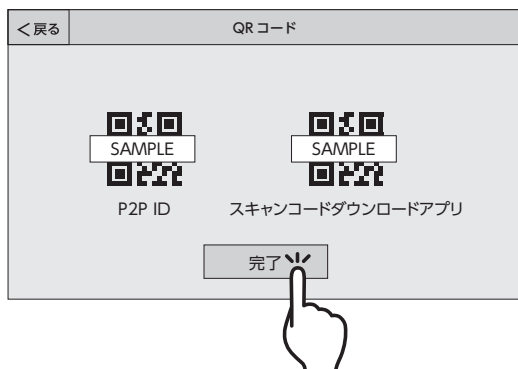
OK

⑦スマホアプリのダウンロードと設定用のQRコードが表示されます。

このアプリは外部制作のアプリとなるため、使用する場合は自己責任でお願いいたします。

※弊社へお問い合わせいただいても、アプリの操作・設定方法についてはお答えできません。また、不具合が起きた場合でも保証の対象外となります。

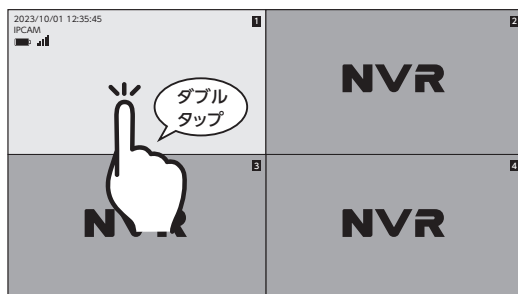
「完了」をタップすると設定画面が終了します。



⑧設定画面が終了すると、右のような画面が表示されます。4分割で左上の画面にカメラからの画像が表示されます。

左上の画面をダブルタップすると、全画面表示になります。

画面操作の詳細は18ページを参照してください。



⑨モニターにカメラからの画像を写しながら、カメラの設置場所を決めます。

カメラとモニターの電波到達距離は理論値で約50mです。

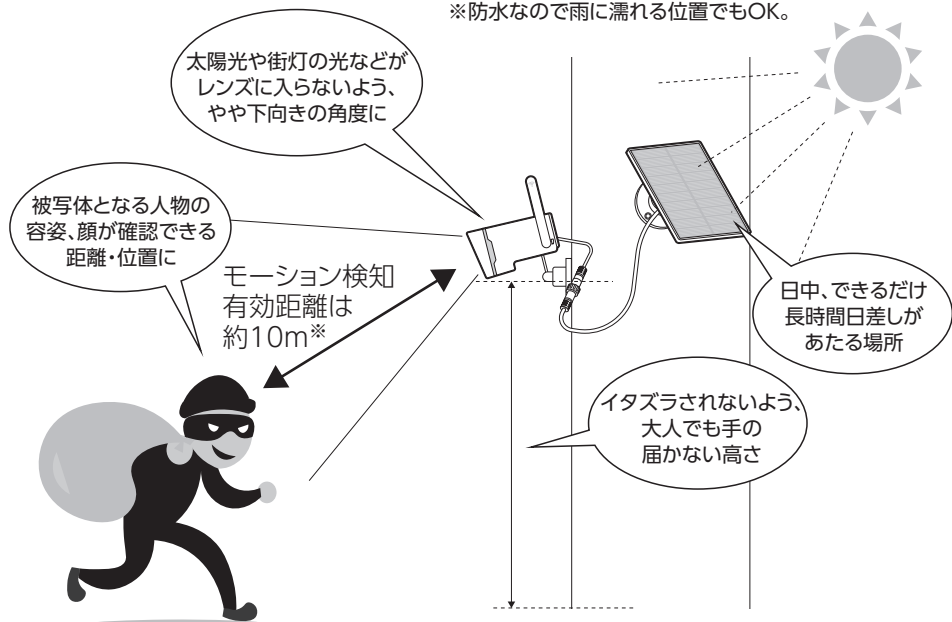
ただし、建築物の構造や周囲の環境によって変わりますので、モニターを確認しながら、モニターの設置場所も検討してください。



下記の図を参考に、カメラ。ソーラーパネルの設置場所を決めてください。

本製品にはポールへ固定するブラケットを付属しています。壁面に穴を開けずに取り付けることができるため、DIY初心者の方や、壁を傷つけられない場合にもおすすめです。

※防水なので雨に濡れる位置でもOK。



※モーション検知のセンサー有効距離は約10m、赤外線ライトの有効距離は約20mです。

設置場所の確認が終わったら、カメラの電源ボタンを長押ししてカメラの電源をOFFにします。

モニタの電源をOFFにする際は、アクセスランプが点滅していないこと（録画中でないこと）を確認してから電源スイッチをOFFにしてください。



カメラ設置前にフル充電したにもかかわらず、モニター画面の電池残量（18ページ参照）が、2目盛以下の場合は、ソーラーパネルからの充電が十分に行えていない可能性があります。

その場合、ソーラパネルの設置位置を変更してください。

5. カメラとソーラーパネルの設置

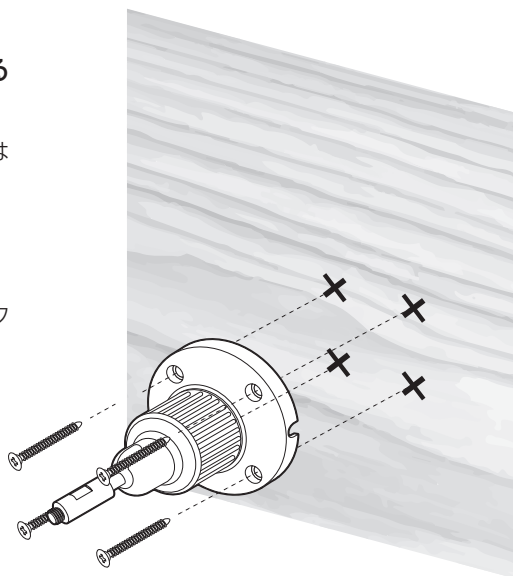
マウンタを先に取り付け、その後にカメラとソーラーパネルを取り付けてください。

■木製の壁、石膏ボードなどに取り付ける場合

木製の壁の場合は木ねじ、石膏ボードの場合はボードアンカーを別途ご用意ください。

■コンクリートの壁に取り付ける場合

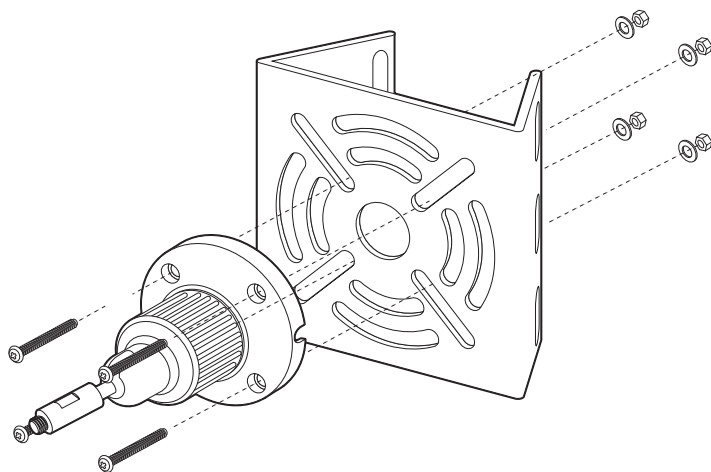
コンクリートの壁に取り付ける場合は、コンクリートプラグを使用してください。



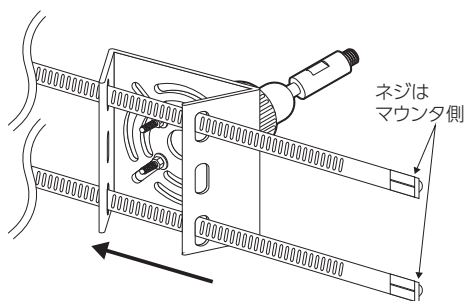
■ポールに取り付ける場合

付属のブラケットとバンドを使用します。雨樋や支柱などに取り付ける場合、素材の強度と直径(バンドの長さで足りるか)を確認してください。

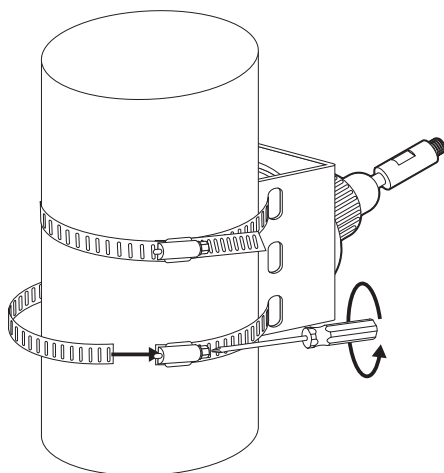
①マウンタを、ブラケットにビス/ナット/ワッシャーで取り付けます。



- ②ブラケットの横穴に、バンドを2本通します。このとき、バンドのネジはマウンタ側に向くようにしてください。



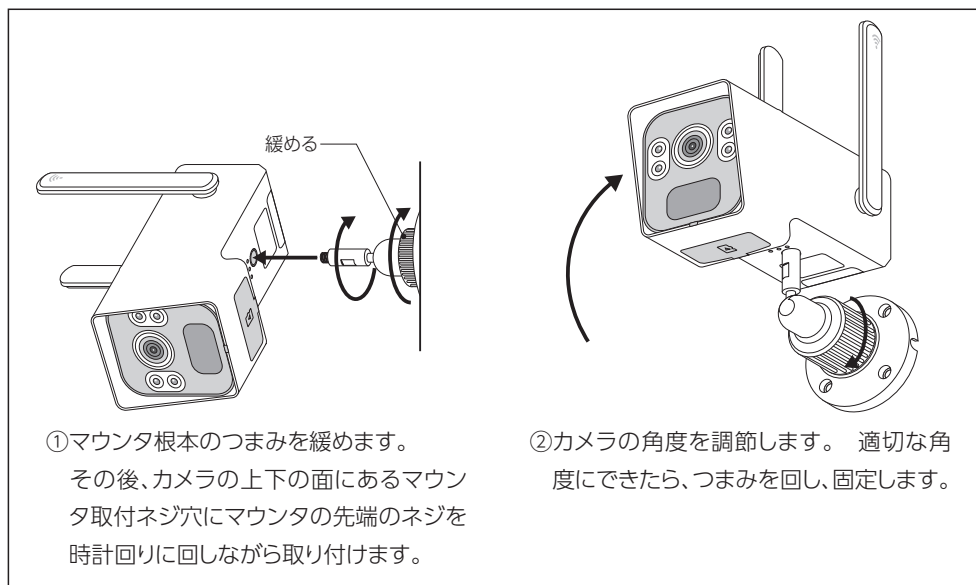
- ③バンドをポールに巻き付け、バンドの先端をネジ部に通します。このとき、ドライバーでネジを時計回りに回しながら押し込むとスムーズに入ります。バンドが固定されるまでネジを締めていきます。
※電動ドライバーを使用する場合はトルク設定に注意してください。



- ④ソーラーパネルも同様にに取り付けます。

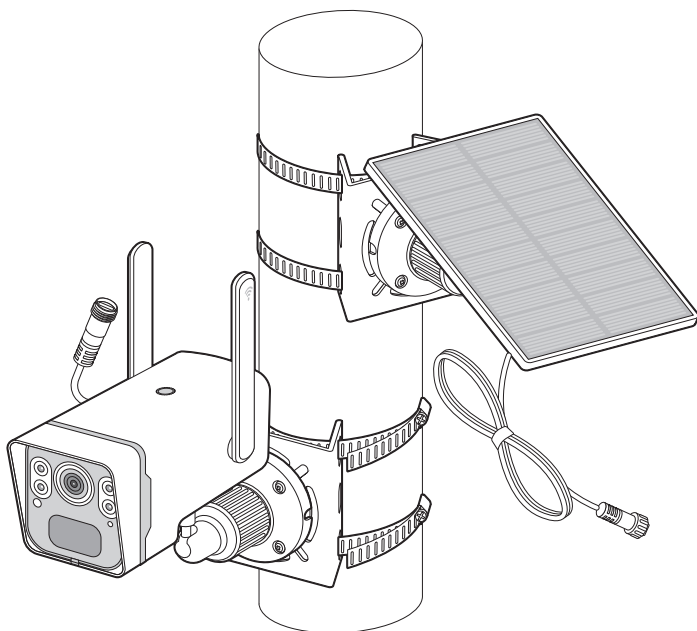
■カメラ／ソーラーパネルのマウンタへの取り付け

マウンタをカメラ／ソーラーパネルに取り付けます。



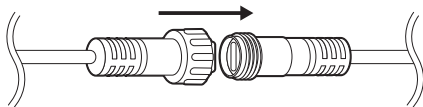
※防水性能を損なうため、カメラは上下逆に取り付けしないでください。

※ソーラーパネルのネジ穴は裏面にあります。上記と同様の手順で取り付けてください。

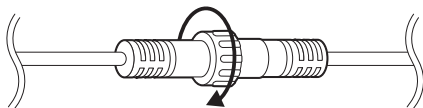


■カメラの電源コードとソーラーパネルの接続

- ①ソーラーパネルとカメラの電源コードの先端のソケットを合わせます。

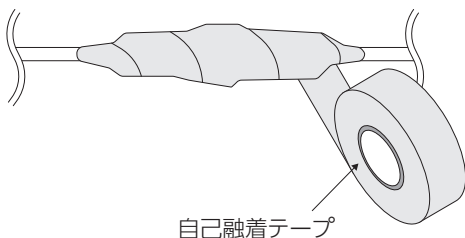


- ②ソーラーパネル側のソケットを回して固定します。



- ③手順②で防水処理はできていますが、設置環境により必要と思われる場合は自己融着テープやCD管を使用して防水性や耐候性を高めてください。

※ビニールテープはコード被膜を劣化させる恐れがあるため、使用しないでください。

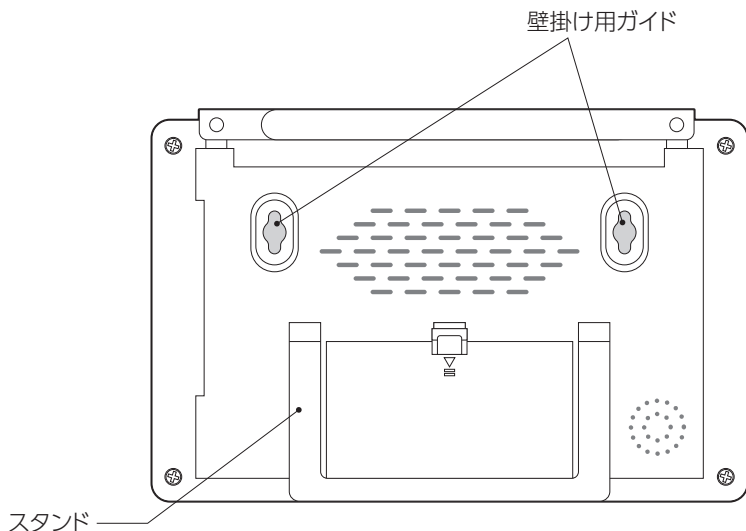


■モニターの設定

モニターはスタンドで立てるほか、壁に掛けることもできます。

壁にかける場合は、落下の危険がないよう、ネジやフックを確実に取り付けてください。

※モニターの操作は画面タップで行いますが、USBマウスを接続して操作することもできます。



6. カメラの画像を見る／録画を見る

■カメラ画面の操作

本製品は最大4台のカメラを接続できます。初期画面では4分割され、それぞれのカメラの画像が表示されます。【図1】

(接続されていないカメラの画面はロゴ表示になります。)

全画面表示にするには、表示画面をダブルタップします。

カメラからの画像に一定時間変化がない時、スリープモードになります。【図3】

スリープモード中は、カメラからのリアルタイムの画像は表示されません。

スリープモードを手動で解除するには、中央の「▶」をタップします。

カメラが動くものを検知すると、スリープモードは自動で解除され、モニターにリアルタイムの画像が表示されます。

●録画について

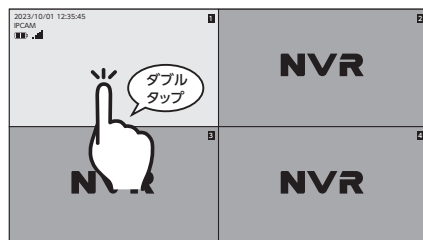
初期設定では、カメラ内に動くものを検知したときのみ録画が開始されます。
(モーション検知)

モーション検知中はアイコンが表示され、録画が行われます。モーション検知がされなくなると、一定時間で録画を終了し、カメラはスリープモードへ移行します。

初期設定では手動でスリープモードを解除しても録画は行われません。手動でスリープモードを解除した時にも録画を行うように設定するには、21ページの「録画設定」を変更してください。

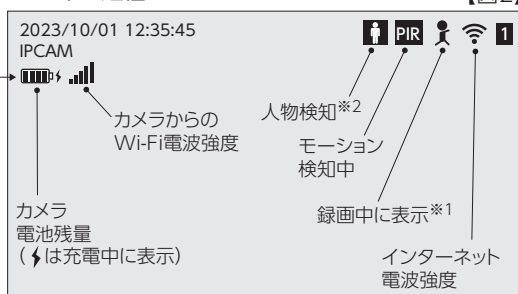
カメラ画面で表示されるアイコンの意味は【図2】のとおりです。

【図1】



※カメラの電池残量が少なくなると、画像が正常に送信できないことがあります。

【図2】

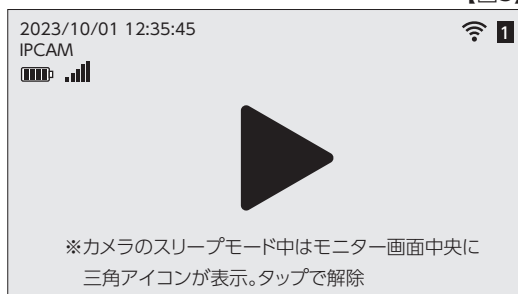


※1 人物検知による録画の時の表示

⌚ 「常時録画」による録画の時の表示
21ページ参照

※2 画面内に人物を検知すると表示されます。
モーション検知、人物検知時、アラーム音量を設定するとモニターからチャイムが鳴ります。
24ページ参照

【図3】



手動でスリープさせたい場合

画面のアイコンのない位置をタップすると、左のアイコンが中央に表示されます。タップするとスリープモードに以降します。(モーション検知するとスリープモードが解除されます。)

■カメラと通話する

モニターにはマイクが内蔵されており、カメラから音声を再生することができます。

- ①スリープモード解除中に画面のアイコンのない位置をタップします。画面下部と右側にアイコンが表示されます。
- ②右側にマイクアイコンに触れ続けている間、マイクに向かってしゃべるとカメラから音声が再生されます。



■音量を操作する

カメラにはマイクが内蔵されており、カメラからの音声を聴くことができます。初期設定ではミュートになっています。

「

■表示を拡大／回転する

●拡大

「

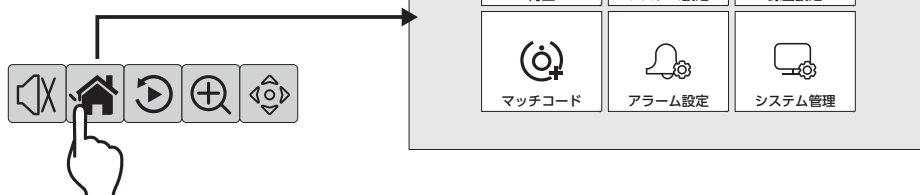
●回転

「

■メインメニュー画面を表示する

「

各種設定を行うことができます。



■録画ファイルを再生する

画面をタップします。画面下部にアイコンが表示されます。

①「▶」アイコンをタップします。(または、メニュー画面から「▶」ボタンをタップ)

②再生画面が表示されます。再生画面のアイコン表示は右図のとおりです。

再生ファイルは1時間(0分～59分まで)毎にまとめられます。現在時刻と同じ時間帯で(現在時刻が16:30の場合、16:00～16:59まで)録画されたファイルがない場合は「記録がありません」とが表示され、何も再生されません。

現在時刻と同じ時間帯で録画されたファイルがある場合、いちばん古いファイルが再生されます。

スライダーなどをタップして再生を操作することができます。

●録画ファイルを切り替えるには(当日内)

再生するファイルを切り替える場合は「📅」アイコンをタップします。

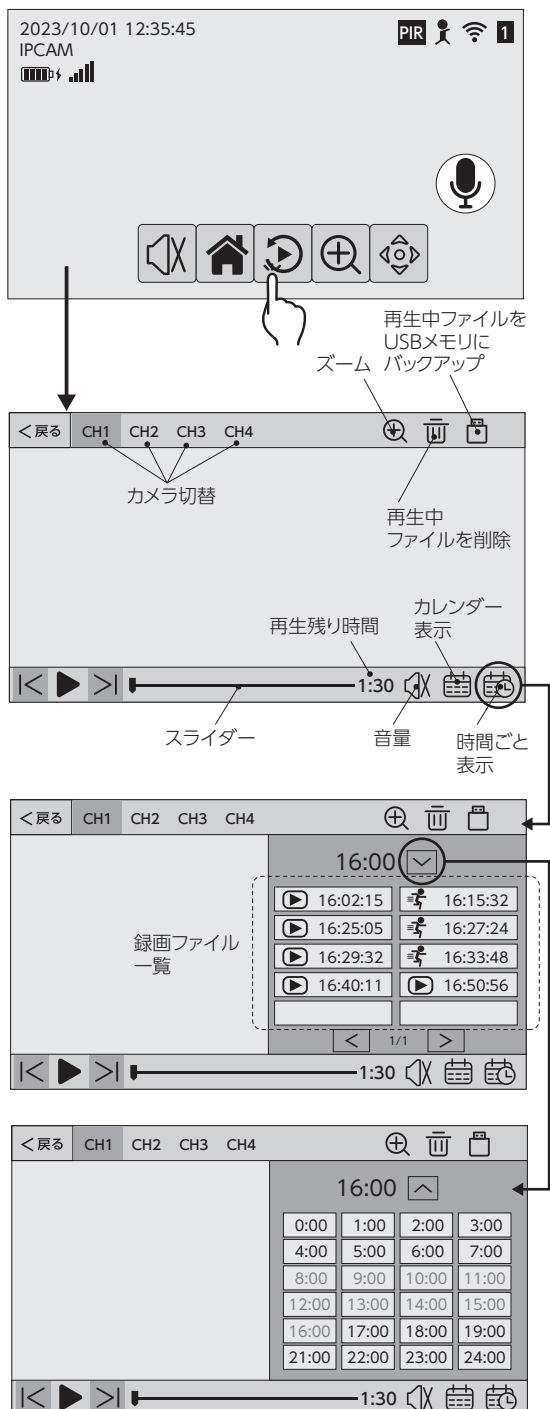
現在時刻と同じ時間帯に録画されたファイルの一覧が表示されます。

「▶」アイコンが先頭についているものは常時録画(22ページ参照)

「🏃」アイコンが先頭についているものはモーション検知による録画ファイルです。

1日の中で他の時間帯の録画ファイルを見るには「📅」をタップします。

緑色文字で表示されている時間帯には録画ファイルがあります(黒文字の時間帯には録画ファイルがありません)。時間帯の数字をタップすると、その時間帯のファイルが表示されます。



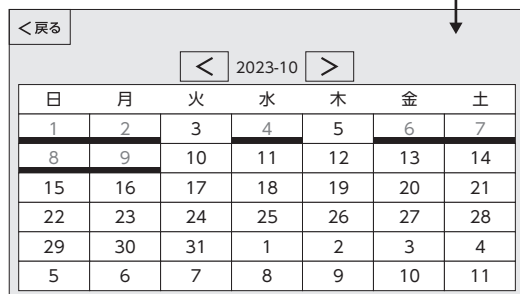
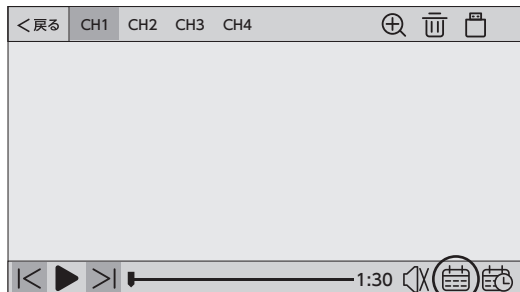
●録画ファイルを切り替えるには (前日以前)

1日以上前の録画ファイルを見る場合には「」アイコンをタップします。

月毎のカレンダーが表示されます。録画ファイルがある日付は緑文字(下線付き)で表示されます。タップするとその日に一番最初に記録されたファイルが再生されます。

その日の中(00:00~23:59)で録画ファイルを切り替えるには前ページの手順を参照してください。

「月」を移動するには「」「」をタップします。

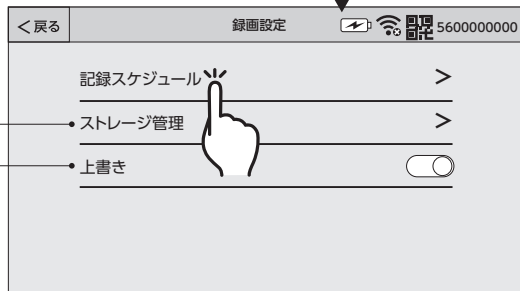


■録画方法を設定する

録画を行う曜日、時間帯、方法を設定することができます。

メインメニュー画面(19ページ参照)から、「録画設定」をタップします。

「録画設定」画面が表示されますので、「記録スケジュール」をタップしてください。



microSDカードの使用状況を確認できます。
フォーマットも行えます。

サイクル録画を設定します。
初期値はONです。
(microSDカードの容量がいっぱいになったとき、古いファイルを削除、新しいファイルを記録します。)
OFFにすると、容量がいっぱいになったとき新しい録画は行われません。

スケジュールはカメラごとに設定できるよう、4パターン設定することができます。(それぞれ有効/無効を切替えることができます。)

初期設定では「スケジュール1」のみ有効になっています。

初期設定から録画設定を変更するには、「**スケジュール1**」をタップしてください。

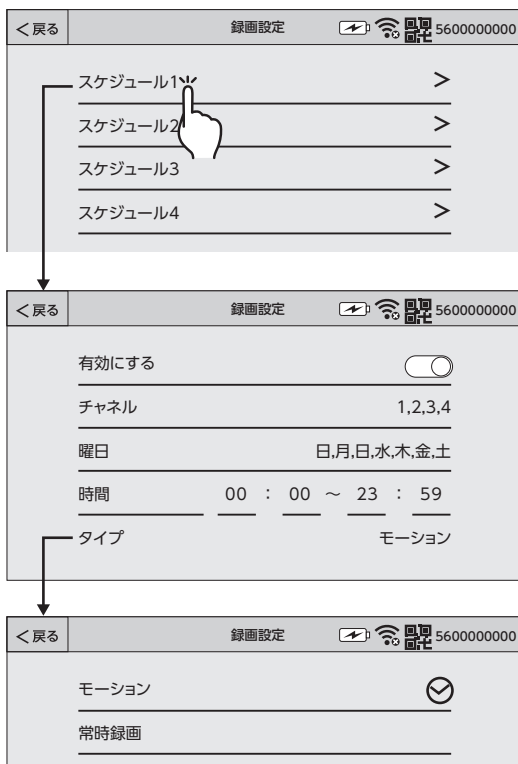
「有効にする」のスイッチがON(緑色表示)になっていることを確認してください。(OFFの場合、設定変更できません)

「チャンネル」はカメラの番号です。初期設定ではすべてのチャンネルが選択されています。カメラ複数台で運用する場合、必要に応じて設定を変更してください。

「曜日」は録画する曜日を設定します。チェックを外した曜日は録画が行われません。

「時間」は録画する時間帯を設定します。範囲外の時間帯は録画が行われません。(00:00~23:59の設定で一日中、録画の対象になります。)

「タイプ」は録画を行うタイミングを設定します。



「**モーション**」のみ(初期設定)……画面内に変化(モーション)を検知したときのみ、録画します。

「**常時録画**」のみ……………カメラがスリープモードになっていない時(モニターにリアルタイム画像が表示されている時)に録画します。

「モーション」を設定していなくても、画面内に変化を検知するとカメラのスリープが解除され、録画を開始します。

「**モーション／常時録画**」両方有効の場合… 録画を行うタイミングは「常時録画」と同じですが、モーション検知で録画した際、アイコンが変化し、その時刻が記録されます。(20ページ参照)

「**モーション／常時録画**」両方無効の場合… 録画は行われません。

【録画中の表示】について

録画中はモニターのアクセスランプ(画面右下)が青く点滅します。また、画面右上にアイコンが表示されます。



常時録画設定による録画

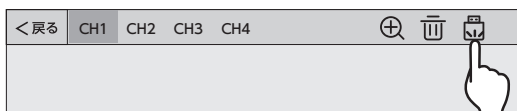


モーション検知による録画

■録画ファイルをバックアップする

再生中のファイルをバックアップするには、空き容量のあるUSBメモリをモニター側面のUSB端子に挿し、右上の「」アイコンをタップします。

※microSDカードをPCにセットし、ファイルを丸ごとコピーすることもできます。

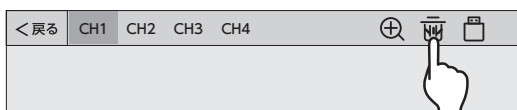


※タップの前にUSBメモリをセットしてください。

■録画ファイルを削除する

再生中のファイルを削除するには、「」アイコンをタップします。

すべてのファイルを削除するには、フォーマットを行ってください。



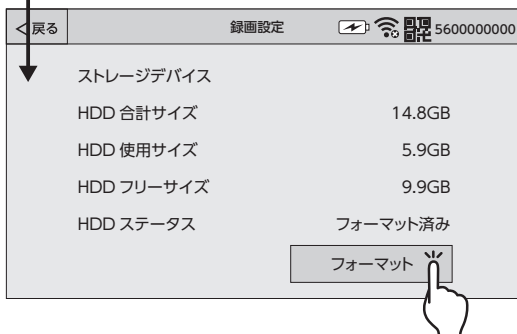
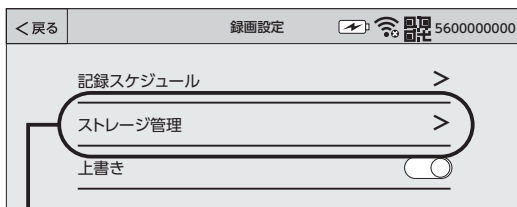
■microSDカードをフォーマットする

「メインメニュー」→「録画設定」画面から、「ストレージ」をタップします。

microSDカードの情報が表示されます。

下部にある「フォーマット」をタップするとフォーマットが行われます。

※記録されていたファイルは保護ファイルも含めてすべて削除されます。



7. その他の使い方

■アラームの設定

カメラがモーション検知、または人物検知をした時、モニターからアラームを鳴らすことができます。

「メインメニュー」から「アラーム設定」をタップします。

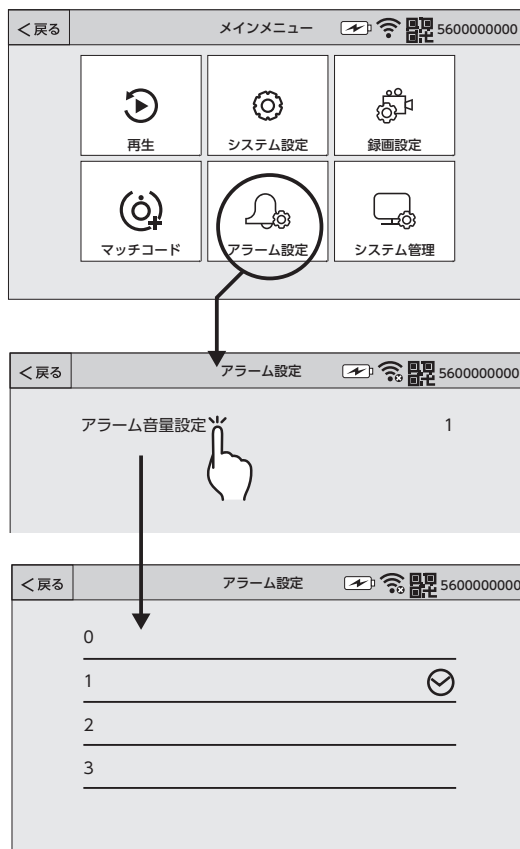
●アラーム音量を設定する

モニターから鳴らす警報音の音量を設定できます。

初期設定では「1」です。(警報音は鳴りません。)[0～3]の数字をタップし、音量を設定します。

※モニターの音量(19ページ)がオフになっていても、アラームは鳴ります。

※人が頻繁に出入りする場所に設置した場合、アラーム設定は行わないでください。



■カメラを追加するには (マッチコード)

カメラとモニターをペアリングします。カメラを追加する際や、万が一、1台目のカメラとのペアリング情報が消えてしまった場合、以下の手順を行ってください。

- ①「メインメニュー」から「マッチコード」をタップします。
- ②カメラの電源を入れ、「マッチコード」をタップします。
- ③ペアリングがうまくいかない場合、カメラのリセットボタンを押して再度上記手順を行ってください。
(ペアリングモードになります)

カメラとのペアリングを解除するには「」をタップします。



■システム設定について

カメラやモニターの基本的な設定を行います。

カメラ設置前に行った初期設定と基本的には同じです。

言語………システムの表示言語の設定

時間設定…日付時刻の設定

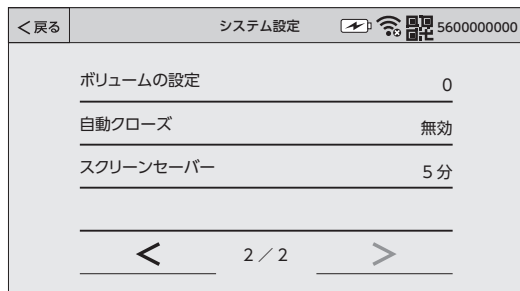
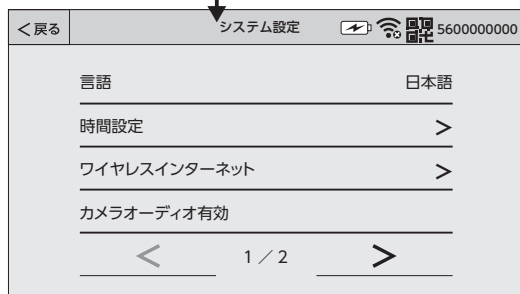
ワイヤレスインターネット…モニターをインターネットに接続する設定です。接続するには、ルーターの名前とパスワードを設定します。インターネットに接続すると、日付時刻がサーバと同期され、設定の手間がなくなります。

カメラオーディオ有効…カメラごとに、マイクを有効にするかの設定ができます。初期設定ではすべて有効です。

ボリュームの設定…カメラから再生する音量の設定です。

自動クローズ…モニターの画面を自動でオフにします。(電源はOFFになりません)

スクリーンセーバー…一定時間経過後、モニターの画面に時計を表示します。



■システム管理について

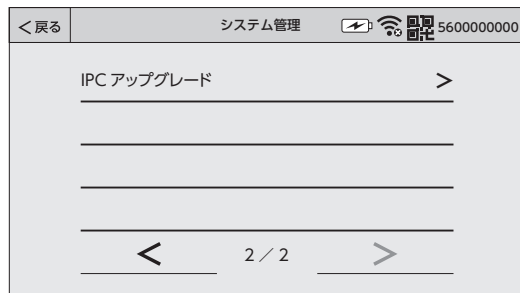
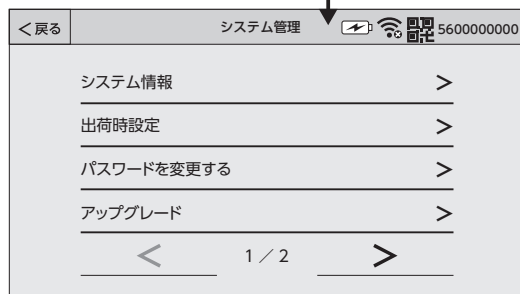
システムのアップグレードや、工場出荷時設定への復帰などを行います。

システム情報……システムの各種情報を参照できます。スマホアプリのQRコードが表示されます。(使用は自己責任でお願いいたします。11ページ参照)

出荷時設定…工場出荷時の設定に戻します。「簡易復元」をタップすると、カメラとのペアリング情報やWi-Fi設定は残したまま他の設定を初期化します。通常はこちらを選択してください。

パスワードを変更する…システムパスワードを設定／変更します。パスワードを設定した場合は忘れないよう十分ご注意ください。(忘れてしまうと本製品の使用に支障をきたします。)通常は設定しないまままでご使用ください。

アップグレード／IPCアップグレード…モニター／カメラのシステムを更新します。必要時以外は設定しないでください。



8. 故障かな？と思ったら

カメラからの画像が映らない	○カメラの充電残量が少なくなっている可能性があります。ソーラーパネルとカメラとのコードの接続が外れていないか確認してください。 ※カメラの充電残量が少なくなり電源がONにならない時は、カメラを外し、カメラ下部のUSB電源端子から充電を行ってください。(取り外しが困難な場合は、モバイルバッテリーなどを使用してください。) ※カメラの充電バッテリー、ソーラーパネルには寿命があります。使用開始から数年経過した場合、充電が正常に行われなくなります。その場合はカメラ、ソーラーパネルを交換してください。
	○カメラからの電波が届いていない可能性があります。下記の対策を行ってください。 1) モニターの設置場所をカメラに近づける 2) カメラとモニターそれぞれのアンテナの角度を調節する。(カメラとモニターに高低差がある場合、カメラのアンテナを横に倒すと受信感度が改善する場合があります) 3) 周辺に強い電磁波を発している機器がないか確認し、それらの機器の設置場所を変える
	○カメラに一時的なエラーが発生し、カメラがスリープモードから自動で復帰しない場合、カメラの電源スイッチを短押し、または長押しして再起動してください。
	○カメラ、またはモニターにに一時的なエラーが発生し、カメラとモニターのペアリングが解除されてしまった場合、再度ペアリングを行ってください。(マッチコード→24ページ参照)
	○設定を初期化(出荷時設定の「簡易復元」)し、カメラ、モニターともに再起動してください。(27ページ参照)。
モーション検知で録画を開始しない	○録画設定(21ページ参照)で、「モーション」または「常時録画」のいずれか(または両方)がチェックされているかご確認ください。
録画できない	○microSDカード破損している、セットされていない可能性があります。カードをご確認ください。 ※重要な録画ファイルはバックアップをとり、定期的にmicroSDカードのフォーマットを行ってください。また、microSDカードには寿命があります。フォーマットをしても録画が正常に行えなくなった場合は新品と交換してください。 ○録画設定(21ページ参照)で、曜日や時間の設定が間違えていないかご確認ください。設定した曜日、時間以外は録画されません。

録画ファイルのバックアップができない	○バックアップには空き容量の十分にあるUSBメモリが必要です。PCなどで空き容量を確認してください。
	○USBメモリはモニターに直接差し込んでください。USBハブなどを使用して接続すると、正常に認識されない場合があります。
	○USBメモリはFAT32でフォーマットしてください。(本製品ではUSBメモリのフォーマットはできません。)
モニターから大きな音が鳴る	○「アラーム設定」(24ページ)で音量を1以上に設定すると、モーション検知時や人物検知時にアラーム(チャイム)が鳴ります。モニターの設置環境によってはかなり大きな音になりますので、必要な時のみ設定してください。 ※アラームはモニターの音量をオフにしている場合でも鳴ります。 ※頻繁にモーション検知が起きる環境ではアラーム音量設定を0に設定してください。
スマホアプリの設定がわからない	○スマホアプリの設定や操作については、弊社ではお答えできません。お客様の自己責任でご使用くださいますよう、お願いいたします。

上記の対策を行っても症状が改善しない場合や、上記以外の症状でお困りの場合は、販売元までご連絡ください。

9. 製品仕様

【モニター】

電 源	5V／2A
画 面 サ イ ズ	7インチ
録 画 解 像 度	1440p 30fps
録 画 形 式	mp4形式（10分ごと約40MB使用）
対 応 メ デ ィ ア	microSDHC／SDXCカード 256GBまで対応
本 体 寸 法	約190(幅)×123(高さ)×30(奥行)mm (アンテナ含まず)
本 体 重 量	約415g
生 産 国	中国

【カメラ】

電 源	ソーラーパネル電源(晴天時:4V／250mA)
消 費 電 力	0.8W(録画時)
バ ッ テ リ ー	5200mAh
動 体 検 知 距 離	約10m
赤外線到達距離	約20m
防 水 性 能	IPX5
C M O S	400万画素
本 体 寸 法	約75(幅)×120(奥行)×70(高さ)mm ※アンテナをたたんだ状態
本 体 重 量	約290g
生 産 国	中国

10. アフターサービス

①初期不良について

本体がはじめてから破損している場合は、購入日とお買い上げの販売店を証明できる書類をご用意のうえ、14日以内に販売店または下記サポートセンターまでご連絡ください。14日を過ぎての交換依頼には応じられませんのでご了承ください。

②修理を依頼されるとき

※保証期間中は製品に製品保証書を添えてお買い上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせていただきます。

※この製品保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または下記サポートセンターにお問い合わせください。



株式会社TOHOホームページ
<https://toho-corporation.com/>

製品保証書

製品名 **モニター付き400万画素ワイヤレス防犯カメラ DX-SC400**

400万画素防犯カメラ DX-SC400-CAM

保証期間(お買い上げ日より)

本体 1年間

お買い上げ日

年 月 日

お
客
様

フリガナ

お名前

様

ご住所 〒 -

電話番号() -

取扱販売店名・住所・電話番号

〈保証規定〉

このたびは、DIXIA モニター付き 400 万画素ワイヤレス防犯カメラをお買い上げ頂きありがとうございます。当社ではアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の権益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

- ①ご購入日から 1 年以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と製品保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店またはサポートセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理、または新品と交換いたします。
- ②本体以外の付属品については、初期不良時の交換のみ無償対応いたします。(購入日より 14 日以内)
- ③本製品をネットオークション、ネットフリーマーケットまたはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。
- ④本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理や初期不良交換の依頼は購入者本人(購入したことを証明し得る者)が行う必要があります。
- ⑤保証対象は本体のみとなります。本体以外の物品、建造物などの故障や破損については、いかなる場合でも保証の対象外となります。

⑥保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

- ※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- ※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
- ※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
- ※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
- ※本書の提示がない場合。
- ※お買い上げ年月日、販売店を証明できる書類のない場合。

⑦本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- お買い上げ年月日、販売店を証明できる書類を必ずご提示ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

販売元 **株式会社TOHO**

サポートセンター電話番号

03-6803-0191

受付時間／月～金10:00～12:00 13:00～17:00
土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く